

郵便馬車

すべての道はローマに通ず

THURN und TAXIS

Alle Wege führen nach Rom

作：Karen und Andreas Seyfarth

対象：10歳以上 2人～4人用

以下に記載の場合を除いて、基本的なゲームのルールを使用してください。これら2つの拡張“The Audience”と“Offices of honor”は同時にもしくは別々にプレイできます。

パッセンジャースペース

1. The Audience(謁見)

各プレイヤーはローマ教皇に謁見するための5人の聖職者を派遣します。ちょうどまく到着するように聖職者を準備したプレイヤーが、より多くの得点を得るでしょう。

内容物：

- ◆ローマへの道のゲームボード 1
- ◆4人用の色別になっている5人の各聖職者による20枚のタイル
- ◆国の色別の5台の馬車
(ベージュがバイエルンなど)



準備：

各プレイヤーは自分の色の5つの聖職者タイルを取ります。ローマへの道のゲームボードを基本のゲームボードのそばに置きます。5つの馬車をそれぞれの色に応じた適切なスタート都市(Lorrach, Tuttlingen, St. Gallen, Freising, Hallstadt)に配置します。2人プレイの場合は, Mail and, comoに2個, Trient, Udineに配置します。

各プレイヤーは、密かに各馬車に乗せる聖職者タイルを1枚ずつ決めます。そして選んだ馬車のパッセンジャースペースに、それらを裏向きにして置きます。各地域から出発する聖職者がプレイヤーの人数分ずつ集まっていることとなります。

ゲーム中、プレイヤーはどの馬車にどのタイルを置いたか見てはいけません。スタート時から覚えておく必要があります。

馬車の移動：

プレイヤーが路線の精算をし、その得点分の計算などしたら、1台以上の馬車の移動を行うことができます。精算した各都市のカードについて、郵便局を置かなかつた都市一つ分、対応する馬車をローマへ向けて出発させることができます。プレイヤーは常に南へ進まなくてはなりません。都市がいくつかの分かれ道を持っている場合は選んで進めます。

ある馬車がすでにローマに到着しているときは、その馬車の都市カードはジョーカーとなり他の馬車を進めることができます。同じことは、Lodz (Poland) で移動で発生する場合も適用されます。プレイヤーは任意に選んでいくつかの馬車を進めます。

例：バイエルンの馬車がAndechsにいます。アンナはUlm-Augusburg-Munchen-Salzburgのルート在完成させ、Munchen以外の都市に郵便局を置きます。アンナはMunchenのカードを郵便局を置くために使わないので、バイエルンの馬車を先に進めます。EttalかTrientに進めます。もし、アンナがMunchenとAugusburgに置いたなら、グリーン(Wurtemberg-Hohenzollern)とレッド(Bohmen-Salzburg)の馬車を次の都市まで進めます。



ローマについての馬車：

馬車がローマに到着したら、その出発点にある聖職者タイルを表にして、対応する所に置きます。もし、あとからローマに着いた馬車に同格の聖職者タイルがあれば、

それまであったタイルを除いて、あとから来たタイルを配置します。もちろんゲーム終了までに、ローマに到着しなかったタイルは、配置されることはありません。

例：青と緑の2人の枢機卿と赤の司教、黄の牧師がローマにいます。彼らはバーデンからやってきました。今、バイエルンから馬車が着き、緑と赤の2人の牧師、青の司祭、黄の枢機卿が来ました。

次の聖職者たちはローマから去ります。青と緑の2人の枢機卿、黄の牧師。今ローマには、黄の枢機卿、青の司祭、赤の司教、緑と赤の2人の牧師がいます。



ゲームの終了：

ゲーム終了時に、ローマに置かれているタイルはそのまま得点となります。

2. Offices of honor(崇高な任務)

プレイヤーは、異なった公人タイルを獲得するように、できるだけ均等に公人の助けを得ようとします。一度に返すことができる異なったタイルが多ければ多いほど、より多くの利益を得ます。

内容物：

郵便局長 8枚 御者 8枚 行政長官 6枚 整備士 4枚
勝利ポイントコイン 12枚 早見表 4枚

準備：

プレイヤーの人数に応じて、右のように、対応する絵のボード上に山にして以下の数だけ置きます。

4人のとき すべてのタイル

3人のとき 局長6、御者6、長官5、整備士3

2人のとき 局長4、御者4、長官3、整備士2

2、3人で行うときは使わないタイルは箱に戻します。



説明：

プレイヤーが公人の助けを使うときはいつでも、タイルの山からその公人タイルをとります。

例：最初のターン、各プレイヤーは局長の助けを得て、都市カードを2枚持ちます。そして、各プレイヤーは局長タイルを1枚取ります。

プレイヤーがどれか一種類のタイルの山の最後のタイルを取ったらすぐに、すべてのプレイヤーは、公人タイルを戻さなくてはなりません。そのターンを始めたプレイヤーから時計回りに、1から4種類の違うタイルを戻します。すべてを戻す必要はありません。

1種類のタイルを戻す：何も得る物はありません

※もし1枚も持っていなければ、何もおこりません。

2種類のタイルを戻す：カードを1枚補充します。(場からでも山札からでも)

3種類のタイルを戻す：1勝利チップポイントを受け取ります。

4種類のタイルを戻す：好きな都市に郵便局を一件設置できます。

※郵便局を置いたら、通常の通り、可能なボーナススタイルをただちに受け取ることができます。これが最後の郵便局なら、通常と同じようにゲーム終了ラウンドです。

公人タイルを最初の場所へ置きます。もし、一度タイルを戻しても、まだ一枚もタイルが置かれていない公人があるときは、もう一回りタイルを戻すターンを行います。各公人に最低1枚のタイルが置かれるまで続きます。より価値が得れるように工夫できます。

例1：アンナはスタートプレイヤー。ベンは次で、タイルの返却を始めます。スコットは次で4種類のタイルを戻し、最後の郵便局を置きました。返却後、スコットとデイブがもう1ターンを行いゲームは終了です。

例2：アンナはスタートプレイヤー。デイブがラストプレイヤーでタイルの返却を始めます。スコットは3番目で4種類のタイルを戻し、最後の郵便局を置きました。デイブは必要なタイルを戻して利益を得た後、ゲームは終了です。

ゲームの終了後、最終得点計算の前に、各プレイヤーは公人のタイルを返し、可能なら勝利ポイントを得るか、郵便局を1個建てるすることができます。